

# 2018年度 事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 靴総合技術研究所

## 1. 事業の成果

2018年度の事業は、特定非営利活動に係る事業のみを対象とし、次に挙げる活動を主体として実施する計画であった。

- ① 足部・脚部等の障害者・罹患者を対象とした相談活動については、前年度に引き続く、障害者団体、「足の保健活動」を取り組むNPO団体によって開催される「足と靴の悩み無料相談会」へのスタッフの派遣に加え、新たに「足の保健靴」専門店の開業に伴い、店頭での「足と靴の相談会」が会員の協力によって実施された。
- ② 日本人のための健康靴(メディカルシューズを含む)の開発・生産のための活動については、
  - a. メディカルシューズの開発に関しては、個々の障害者、罹患者への個別対応用の基準靴の機能性、素材等に関する点検および改良が実施され、合わせて、今後新規に開発すべき製品の有無についての検討が開始された。
  - b. メディカルシューズへの転用が可能な一般健康靴に関しては、「足の保健靴」専門店の開業からの要請も受けて、さらに新製品の開発が進展した。
  - c. 「日本人のための健康靴」の心臓部である「日本人の標準的な足の骨格に対応したフット・ベッド(インソール)」に関しては、雑多な「インソール」が出回る現状の中で質的な優位性故に、市販のスニーカー、輸入健康靴等の付属のインソールに替えて利用する、インソール単体での需要が拡大しており、それに対応した汎用型の多様化を含めた安定的な供給体制を維持していくための取り組みが継続された。
- ③ 医師と連携した罹患者に対する治療用装具の供給活動については、
  - a. 2008年以来継続してきた協力大学との共同事業が最終年であったことから、本年度は新規供給はなく、大学としての事業終了後のアフターケア等の継承に関する活動(関係医師、関係NPO等との調整等)に協力した。
  - b. 本年度は、医師の依頼を受けて「治療用装具」を長年供給している会員が、〈義肢装具士の関わった「不適切」な療養費請求問題〉という、義肢装具士でない会員にとっては全く関係のない事件に巻き込まれ、その対処に迫られるという事態が発生したため、緊急に対策を講じ、当法人としての見解を取りまとめ、現在も各方面に対して働きかけを継続中である。
- ④ 足部・脚部の健康の維持・増進と靴に関する啓蒙活動については、
  - a. 引き続き、協力NPOが主催する一般市民向け、障害者(家族も含む)向け、医療・福祉従事者向けの、各種の足と靴の啓蒙活動(啓蒙講座、健康講座)へスタッフを派遣した。
  - b. 前項bの活動と関連して、当初の計画にはなかった、「靴型装具」をめぐる問題の背景には、「日本における足と靴の問題性(歴史性を踏まえた)」があることを明示するための啓蒙活動にも着手することになった。
- ⑤ 日本人のための健康靴の販売ソフトの普及活動については、引き続き、「日本人のための健康靴」の販売を希望する人たちのために開発・販売企業が実施する研修に協力するとともに、前年度までの研修への参加者が新規開業した「足の保健靴」専門店への具体的協力も行なった。  
また、「販売ソフトの普及」に関しては、前年度同様、「価格競争」に巻き込まれないために、「自分たちは不生産的活動(金融、証券、不動産、各種サービス等々)のみに徹し、自分たちの必要なものを自分たちで生産しない」という日本社会のあり方を批判し、「日本人のために日本の

職人・労働者が生産した靴の適正価格」を明示できる主体作りを重視し、取り組まれた。そのため、具体的な研修内容は、販売者自身が適正価格での販売に自信が持てるように、「生産コスト」に関して、製法、素材、製造工程、生産場所、等々の市販される多くの靴とは異なった特殊性を理解することに重点が置かれた。

- ⑥ 各種講座修了者の技術力向上のための活動については、各種講座修了者の中で、医師と連携した事業展開を目指す技術者を対象に、個々の障害者、罹患者に対する個別対応のできる技術の集中的研修を、会員工房を使って行なった。
- ⑦ 会員の技術力強化のための活動については、引き続き、相談・販売技術を修得した人たちの活動への技術的サポートを強化できるように、研究員を中心とした会員向け研究会が実施された。
- ⑧ 以上を総じて、15年にわたる大学との共同事業が終了する年度にあたり、「メディカルシューズを含めた多様な日本人のための健康靴」の製品化とそれを提供する人材の育成という、当初の目標が達成されたことが確認できると同時に、その成果を引き継ぐべく、「足の保健靴」専門店の開業にも見られるように「多様な日本人のための健康靴」の本格的な普及をめざす取り組みが、本年度を通して一歩踏み出されたことは確認できる。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 相談事業への協力

足部障害者・罹患者のための無料相談会へのスタッフの派遣による協力

実施日：4月21、22日、6月23、24日、7月28、29日、11月10日、11月17、18日

実施場所：協力NPO店舗、「足の保健靴」専門店

従事者数：各5名

対象者：相談を希望する市民（各約10人）

支出額：135千円

#### ② 日本人のための健康靴・医療靴の開発・普及事業

日本人の足の健康の維持・増進に役立つ靴の開発と国内生産への協力の事業

実施日：4月16-17日、6月22日、26日、11月16日、20日

実施場所：協力企業工場、協力NPO事務所

従事者数：4名

支出額：360千円

#### ③ 啓蒙・普及技術養成事業

##### 1. 協力NPO主催の足と靴の啓発活動(啓発講座、健康講座)へのスタッフ派遣

実施日：4月15日、6月25日、7月28日、11月19日

実施場所：NPO施設、公共施設

従事者数：3名

対象者：一般市民(子供も含む)、障害者(家族も含む)、医療・福祉職従事者

支出額：36千円

##### 2. 健康靴の開発・販売企業が実施する販売店スタッフ向け研修への協力

実施日：4月21日、22日、6月23日、24日、11月17日、18日、1月23日、29日、31日、2月5日、6日、13日、14日、

実施場所：開発・販売企業事務所、協力NPO店舗、「足の保健靴」専門店

従事者数：2名

支出額：78千円

3. 技術者養成講座修了者対象の装具の供給技術習得のための集中研修会

実施日：12月13日～18日

実施場所：会員の工房

従事者数：2名

対象者：技術者養成講座修了後一定の経験を積んだ技術者(若干名)

支出額：36千円

4. 「日本における足と靴の問題性」の啓発のための諸活動

実施場所：法人事務所、協力NPO店舗、会員の工房、公共施設

従事者数：2名

対象者：自治体職員、議員、研究者、医療・福祉従事者、弁護士

支出額：0千円

④ 研究員を中心とした会員による研究事業

実施日：4月25日、5月30日、6月20日、7月18日、8月22日、9月19日、10月17日、  
11月14日、12月19日、1月30日、2月20日、3月27日

実施場所：事務所、会員の工房

従事者数：各5名

対象者：研究員を中心とした会員

支出額：1,440千円

(2) その他の事業 無し

## 2018年度 活動計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 靴総合技術研究所

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	150000	
入会金	10000	
		160000
2 受取寄附金	0	0
3 受取助成金等	0	0
4 事業収益		
研究・開発・検証事業収益	1000000	
講習受託費	800000	
5 その他収益		
受取利息		
		1800000
経常収益計		1960000
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
相談事業参加謝金	135000	
講座・研修会講師謝金	150000	
人件費計	285000	
(2)その他経費		
旅費交通費	1800000	
学会参加費		
その他経費計	1800000	
事業費計		2085000
2 管理費		
(1)人件費		
人件費計	0	
(2)その他経費		
事務所使用料	60000	
会議交通費	60000	
事務用品・消耗品費		
その他経費計	120000	
管理費計		120000
経常費用計		2205000
当期経常増減額		-245000
税引前当期正味財産増減額		-245000
法人税、住民税及び事業税		70000
当期正味財産増減額		-315000
前期繰越正味財産額		6281
次期繰越正味財産額		-308719

その他の事業は無し。

## 2018年度 貸借対照表

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 靴総合技術研究所

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	191281	
未収金		
流動資産合計		191281
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		191281
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入	500000	
未払金		
流動負債合計		500000
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		500000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		6281
当期正味財産増減額		-315000
正味財産合計		-308719
負債及び正味財産合計		191281

## 2018年度 財産目録

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 靴総合技術研究所

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	189672	
郵貯銀行等普通預金	1609	
未収金		
事業未収金		
流動資産合計		191281
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産計		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		191281
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入	500000	
未払金		
流動負債合計		500000
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		500000
正味財産		-308719

## 2018年度 年間役員名簿

2018年4月1日から2019年3月31日まで

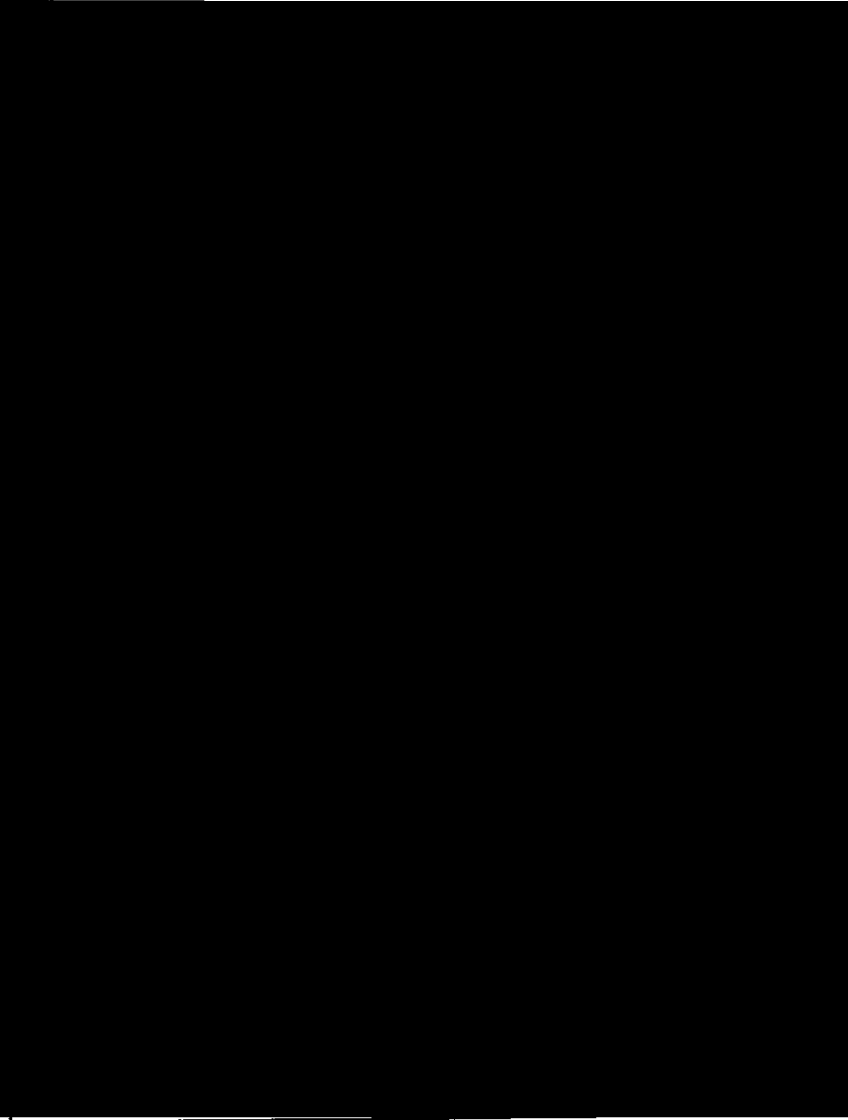
特定非営利活動法人 靴総合技術研究所

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	渡辺好庸		2018年4月1日 ～2019年3月31日	無
理事	小黒健二		2018年4月1日 ～2019年3月31日	無
理事	小黒一夫		2018年4月1日 ～2019年3月31日	無
理事	田中隆基		2018年4月1日 ～2019年3月31日	無
理事	並木千鶴		2018年4月1日 ～2019年3月31日	無
理事	伊藤敦		2018年4月1日 ～2019年3月31日	無
監事	永田信雄		2018年4月1日 ～2019年3月31日	無

## 社員のうち10人以上の者の名簿

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 靴総合技術研究所

	氏名	住所又は居所
1	伊藤敦	
2	小黒一夫	
3	小黒健二	
4	田中隆基	
5	左広美	
6	永田信雄	
7	並木千鶴	
8	松田初善	
9	渡辺さ江	
10	渡辺好庸	